

加古川ウェルネスパーク



贈呈理由

加古川ウェルネスパークは、ESCO事業で高効率な熱源システムへの更新、効果的な運転管理が可能な中央監視装置の導入を行ない、大幅な省エネを実現



施設全景

加古川市は兵庫県南部の播磨灘に面し、一級河川「加古川」の水の恵みを受けて発展してきた。

海岸線には、わが国有数の鉄鋼工場があり、播磨臨海工業地帯の一翼を担っている。

一方、内陸部には伝統を生かした靴下、建具など特色のある地場産業とともに新しい商業活動も活発である。

また、国宝などを多数所蔵する鶴林寺などの神社仏閣や見事な眺望と自然が満喫できる高御位山など、加古川の清流と豊かな緑を擁した文化遺産が多いまちとして知られている。

加古川ウェルネスパークは、ウェルネスセンター、音楽ホール、図書館や広大な公園を備えた複合健康文化施設として1997年にオープンした。

公園内には140種約16万本の植物が植えられ、春は新緑、初夏はあじさいやラベンダー、秋は紅葉と四季折々の自然が楽しめ、ピクニックや森林浴など市民の憩いの場として親しまれている。

ESCO事業で省エネを実現

2015年には、設備の省エネルギーと光熱費の削減を目的に、加古川市として初めてESCO事業を導入し、老朽化した設備の大規模改修を行い、大幅な省エネを図った。

主な改修内容として、空調熱源設備は、吸収式から高効率の空気熱源ヒートポンプチラーへ更新した。

プールの加温は高効率の循環加温ヒートポンプを導入するとともに、新たに蓄熱槽を設置して夜間に加温することで最大電力の抑制とランニングコスト低減を実現している。

また、中央監視装置(BEMS)を導入したことで、改修後は運転データを分析し、運転方法の改善等により更なる省エネを実現している。

今後も加古川ウェルネスパークは市民のウェルネスライフを支え、「ウェルネス都市加古川」の実現に貢献する施設として期待されている。



蓄熱槽



循環加温ヒートポンプ

加古川ウェルネスパーク

所在地: 加古川市東神吉町天下原370

蓄熱設備設計: アズビル(株)

蓄熱設備施工: アズビル(株)

延床面積: 10,588.11㎡

竣工: 2015年(更新)

■蓄熱設備概要

循環加温ヒートポンプ 70kW×4台(東芝キャリア)

蓄熱槽: 40㎡

■空気熱源設備概要

高効率ヒートポンプ空調システム

熱源機: 空気熱源ヒートポンプチラー

972kW×1台(東芝キャリア)